

Kofax Claims Agility

医療請求処理を自動化

医療と傷害保険会社にとって、1つの最大の運用コストは請求処理です。非効率、処理ミス、漏洩、不正はコストの上昇とリソースの枯渇を生じます。しかし、よいお知らせがあります。多くの決まった請求処理は今や、Kofax Claims Agility®を使用して自動化し、正確性、コンプライアンス、透明性を向上しながら、時間とコストを節約できます。

医療請求フォームは複雑であり、時系列でシステムに手入力される何百ものフィールドを含むことがあります。これはミスを招き、最終的に処理コストの上昇につながります。Kofax Claims Agilityは、医療請求からすべての加入者、患者、医療サービス提供者およびサービスのラインデータを自動的かつ正確に取り込み、抽出し、厳密に確認することで、これらの問題を解消します。直感的なインターフェイスとワークフローを使用して、確認担当者は素早くミスを確認または訂正し、承認または必要に応じてエスカレーションや却下できます。医療請求フォームの処理を自動化することにより、プロセスを迅速化し、請求処理担当者が請求について、よりスマートで情報に基づく決定ができるようになります。「クリーンな請求」は標準EDIファイルに変換され、下流の裁定プロセスに向けられ、運用効率を高め、正確性を向上し、サイクルタイムとコストを削減すると同時に、未達成のSLAの違約金を回避できることで、コンプライアンスを保証し、顧客サービスを向上できます。

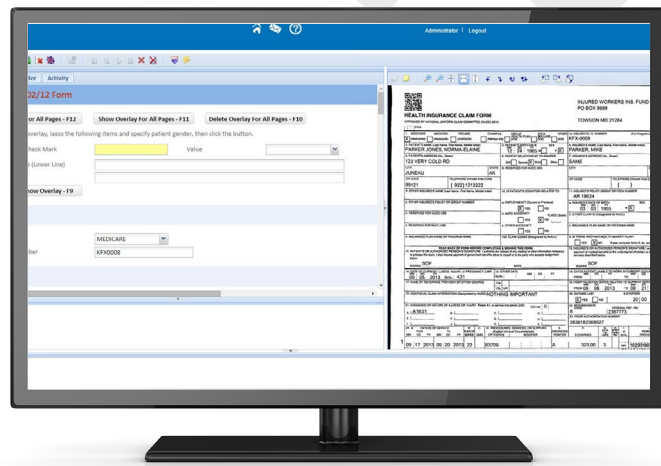
Kofax Claims Agilityによって組織は、より多くの請求を、より正確に少ない人員で処理できます。Kofax Claims Agilityは、医療フォームのすべてのデータを抽出し、スタッフの効率を大幅に向上するために特別に構築されました。現在、紙ベースの請求処理を外部に委託している場合、社内で処理することで、全プロセスの制御、可視性と監査可能性を向上することによりリスクを低減します。

Kofax Claims Agilityの仕組み

Kofax Claims Agilityは、Kofax TotalAgility®プラットフォームで実行されます。これは直接購入するか、既存のKofax TotalAgilityプラットフォームに追加して、標準CMS 1500およびUB-04請求フォームの自動処理をサポートします。

ドキュメントの分類

Kofax Claims Agilityは医療専門家用請求 (CMS-1500) および医療機関用請求 (UB-04) を自動的に検出し、分類します。そして関係書類と各請求を結び付け、追跡し、「請求ケースファイル」を作成して、システムを他の請求の種類を特定し、分類するよう訓練します。これらのドキュメントをデジタル化することで、手作業で区別する負担を最小限に抑え、権限を有する人が素早く各請求ケースファイルにアクセスし、加入者、医療サービス提供者および他の提出者について、社内で問合せ、訂正、フォローアップをサポートできます。



Kofax Claims Agilityは医療フォームのすべてのデータを抽出し、スタッフの効率を大幅に向上するために特別に構築されました。

データの抽出

Kofax Claims Agilityは、様々な画像登録手法、OCR (光学文字認識) エンジンおよびデータロケータを使用し、CMS 1500フォームでは最大170フィールド、UB-04フォームでは400フィールドからデータを自動的に読み取り、抽出できます。その後、抽出されたデータは包括的なルールセットに自動的に照らし合わせ、Kofax Claims Agilityユーザーインターフェイス内で確認するため、マークが付けられます。

データの確認

Kofax Claims Agilityは事前に設定されたルールを抽出されたデータに適用し、NUBC (医療機関用請求)、NUCC (医療専門家用請求) およびANSI X12 (EDI) 仕様を実施し、また、導入された保険会社特有のルールを実施し、これらのルールのいずれかに違反するすべてのフィールドを可視化します。ビジネスルールのエラーがある請求や、抽出の信頼性が低い問題は、確認や訂正のため、確認担当者に提出されます。請求の抽出と確認を自動化することにより、処理が大幅にスピードアップし、例外をより迅速に特定し、請求が下流プロセスに転送される前に、データの正確性を向上します。

データのエクスポート/交換

確認に合格した、あるいは作業によって訂正された請求は、自動的にEDIに変換され、次の処理ステップに伝送されます。Kofax Claims Agility EDI Export ConnectorはANSI X12に準拠した837I/P v5010ファイルを作成し、裁定プロセスにシームレスに手渡しできます。

特徴

- ◆ 事前に設定されたKofax転換プロジェクトファイルとドキュメント化
- ◆ 事前に設定されたUB-04 (医療機関用、黒および赤のドロップアウト) および CMS 1500 (医療専門家用、黒および赤のドロップアウト、08/05 および 02/12バージョン) 請求フォーム対応
- ◆ NUBC、NUCCおよびANSI X12仕様に従い、抽出されたすべてのデータを確認する、事前に設定された、包括的なルールセット
- ◆ 確認で使用される最新のICD-9およびICD-10コードデータベース (CM、PCS)、CPTコード、HCPCSレベル1 & 2コードおよびHIPPSコードを含む
- ◆ 査定者による確認のため、レビュー、訂正、またはミスのある請求をワークキューに移動するための確認ユーザーインターフェイスとワークフロー
- ◆ 標準キャプチャおよび拒否ワークフローと、必要に応じて、適応可能な例外処理フレームワーク
- ◆ 訂正や承認のため、医療サービス提供者に確認やコメント追加、伝送する際に使用する査定者ユーザーインターフェイス
- ◆ 拒否された請求に関する医療サービス提供者の電子メール通知
- ◆ 医療サービス提供者のウェブポータルは、拒否の理由、査定者のコメント、以前に提出されたすべてのフォームを説明し、支払者と協力し、再提出を可能にします。
- ◆ エンゲージメントシステム (例: 多機能周辺装置 (MFP)、電子メール、ファックス) および記録システム (例: 加盟者や医療サービス提供者のデータ保管、請求システムおよび他の旧来のシステムやデータ) と統合
- ◆ 最新の837I/P v5010 EDI Errataおよび Addendaに準拠するEDI Export Connector
- ◆ EDIに自動投入することで、EOBキャプチャプロセスを促進
- ◆ ソリューションの設定とカスタマイズ、および CMS-1500 & UB-04 データ要素を837I/P v5010 EDIファイルに割り当てることを定める、詳細なドキュメントを作成

利点

ペーパーレスを実現し、アクセスとセキュリティを向上

医療請求における紙のフローを停止し、すべての権限を有する人が簡潔な請求画像を利用できるようにして、「請求の可視性」の価値を維持すると同時に、保護対象保健情報 (PHI) への不正なアクセスをなくします。

より効率的なオペレーションの道筋を迅速化

ベストプラクティスのキャプチャおよび拒否ワークフローとユーザーインターフェイス、医療請求ルールとガイドラインの遵守、およびEDIへの自

動変換を含め、Claims Agilityの調査、設計、構築に何百ものエンジニアリングの時間を投資することにより、組織は請求自動化プロジェクトの実現を大幅に迅速化し、非常に効率的なオペレーションを素早く達成できます。

データ入力の削減、生産性およびデータの正確性の向上

スマートな請求データキャプチャと、含まれる医療コードセット、NUBC、NUCCおよびEDIルールと他の最適なビジネスルールに対する確認を強化します。医療サービス提供者によるミスを含む請求を迅速に特定し返却して、EDIに自動変換します。より効率的で正確な、コストの低いプロセス全体からメリットが得られ、少ない人員でより多くの請求を処理できるようになります。

不正確な支払いを削減または排除

急騰する医療コストは制御できませんが、請求処理オペレーションを制御し、各請求を正しく処理するために必要なサイクル数を削減することは可能です。より厳格な、徹底した事前の裁定プロセスにより、「クリーンな」請求のみがEDIに変換され、下流裁定プロセスに送られ、より迅速で正確な償還および拒否プロセスを実現できます。

規制が変更されても、生産性を維持

マルチチャネルのキャプチャ市場のリーダーやSmart Process Applicationsをリードする革新者がサポートする、拡張可能なソリューションを導入することで、オペレーションにインパクトを与える前に、変化する規制にすぐに対応し、生産性を維持します。

発生時点で請求処理を拡張

Kofaxプラットフォームは請求処理の入力ポイントを、医療ケア提供者の場所で、開始する場所へ拡張する機能を含め、変革をもたらすオプションを提供します。リモートウェブとモバイルキャプチャをサポートすることにより、提出者は発生時点でプロセスを開始でき、プロセスの可視性が向上し、請求プロセスの開始を迅速化できます。

ビジネスの分析により、理解を深める

ダッシュボードは、直感的で洞察のある方法でビジネスの状況を現実的に伝えることができます。直感的で詳細なビジネス分析を利用することにより、複雑な請求プロセスに関するオペレーションを向上する最高のオプションについて理解を深めます。

使いやすく、素早く変更可能

ブラウザに依存しないユーザーインターフェイスにより、導入が簡素化され、作業者が生産的に仕事に従事できます。ワークフロー、ビジネス制御、ユーザー画面がすでに組み込まれた視覚的な設計により、すべてのビジネス要件を満たし、必要なプロセス向上と必要なコンプライアンスの変更を実行するよう、迅速にカスタマイズできます

Claims Agilityについて詳しくは、kofax.jpをご覧ください。

